

世界自閉症啓発デー in 横浜 2023



毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」
4月2日～8日は「発達障害啓発週間」

「世界自閉症啓発デー」は、世界各国で自閉症をはじめとする発達障害への理解を深めることを目的に、平成19年12月に国連が制定しました。

日本では、厚生労働省が「発達障害啓発週間」を定め、自閉症をはじめとする発達障害について普及啓発を実施しています。横浜市でもこの取組を推進するため、関連イベントを実施します。

LIGHT IT UP BLUE 2023 — 横浜を青く照らす —

「癒し・希望・平穏」を表し、自閉症啓発デーのシンボルカラーである、ブルーの光で市内の観光スポットなどをライトアップします。



「#世界自閉症啓発デー」
でシェアしよう👍

【日時】

令和5年4月2日（日）～4月8日（土）
※ 会場ごとに点灯時間は異なります。

【場所】

- よこはまコスモワールド
大観覧車「コスモクロック21」（中区新港2-8-1）
- 横浜マリニタワー（中区山下町14-1）※4月2日のみ
- 横浜市庁舎（中区本町6-50-10）
- 女神橋（西区みなとみらい1-1）
- 横浜ハンマーヘッド（中区新港2-14-1）
- 象の鼻パーク（中区海岸通1）
- 神奈川県庁本庁舎（中区日本大通1）
- 日産スタジアム（港北区小机町3300）※4月2日のみ

市立図書館パネル展 — みんなで知ろう発達障害 —

市内の図書館において通常は分野ごとに配架している発達障害に関する書籍の中から、ご紹介したい本を集めて展示・貸出を行います。
発達障害の理解に役立つパネル展示も、あわせてご覧ください。

【日程及び会場】

- 令和5年3月21日（火）～4月16日（日）
中央図書館 4階（西区老松町1）
- 令和5年3月28日（火）～4月10日（月）
神奈川図書館（神奈川区立町20-1）
- 令和5年4月12日（水）～4月25日（火）
鶴見図書館（鶴見区鶴見中央2-10-7）

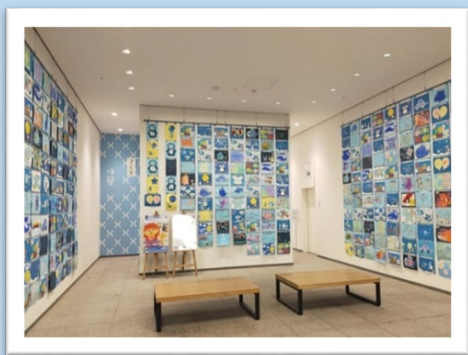


「世界自閉症啓発デー in 横浜 2023」に関連したイベント

ブルーフラッグの展示

市内4か所の地域療育センター※と横浜市総合リハビリテーションセンターに通う子どもたちが、青色の画用紙を使って作成した、素敵なブルーフラッグを各会場で展示します。個性あふれる作品をぜひ会場でご覧ください。

(※ 地域療育センター…0歳から小学校期までの障害児の療育に関する相談・診療・指導等を行う施設)



【日程及び会場】

- 令和5年3月30日(木)～4月9日(日)
横浜市役所 1階 展示スペースB (中区本町6-50-10)
- 令和5年3月31日(金)～4月11日(火)
都筑区役所 1階ロビー (都筑区茅ヶ崎中央32-1)
- 令和5年4月1日(土)～4月12日(水)
トレッサ横浜 南棟3階 (港北区師岡町700)

【主催】(社福)横浜市リハビリテーション事業団
(一社)横浜市自閉症協会 **共同開催**
【協力】トレッサ横浜

DANCE@RAPPORT ラポールシアターのダンスフロアで踊ろう!! 世界自閉症啓発デースペシャル

ラポールシアターがダンスフロアに変身!DJの流す音楽とシンボルカラーのブルーの光の演出に合わせて自由にダンス!

【日時】4月8日(土)13:30～15:30(途中入場・途中退場可)

【場所】障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
「ラポールシアター」(港北区鳥山町1752)

【定員】80名(申込み先着順)

【対象】障害のある方とその家族、介助者
※ 車いすの方も参加できます

【主催】(社福)横浜市リハビリテーション事業団
(一社)横浜市自閉症協会 **共同開催**



横浜ラポールの
ウェブサイトから
お申込みください。



世界自閉症啓発デーをきっかけに、 自閉症や発達障害の理解をもっと深めませんか?

横浜市では、一般社団法人横浜市自閉症協会と学校法人岩崎学園との協働により、自閉症の理解啓発を目的とした動画を制作しています。

動画及びその他のイベント情報等も、横浜市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

世界自閉症啓発デー in 横浜



横浜市営地下鉄(ブルーライン・グリーンライン)車内ビジョンで動画を放映します。

【期間】4月3日(月)～4月9日(日)